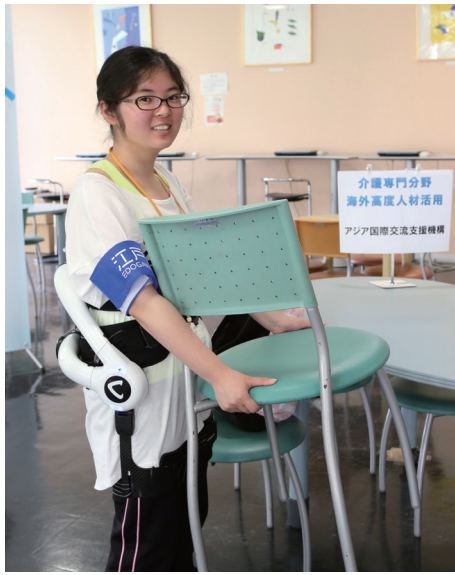




HAL®は人が体を動かすときに脳から筋肉へ送られる信号を読み取って、自分が動きたいようにサポートしてくれる。



椅子を要介護者のつもりで持ち上げてみる3kgというHAL®重さが気にならないから不思議だ。女性でも楽々と使える。



介護者の腰に負担が掛かる姿勢。寝ている要介護者を起こしているつもり。HAL®の威力がいちばん体感できる作業だった。



江戸川大学総合福祉専門学校で 学生記者が 首都圏初! 導入 介護支援ロボットを体験

サイバーダインの小笹恵美さんから説明があった。



腰タイプを実際につけてみた。3kgと少し重い感じがしたが、慣れにくる違和感がなくなり、体の一部として外したくな

同専門学校が導入した介護支援ロボットは、茨城県つくば市にあるサイバーダイン株式会社製のHAL®介護支援用(腰タイプ)(以下HAL®)である。下肢に装着する医療用モデルの研究開発がベースとなり、この腰に装着するタイプが実用化された。

HAL®は体を動かそうとするときに脳から筋肉へ送られる「生体電位信号」を読みとってその信号の通りに動くサイボーグ型ロボットだ。つまり、思い通りに動きをアシストしてくれるので、ふだんより大きな力をだせるようになる。HAL®を装着すると、ベッドから車いすへの移乗や介助や体位変換の際に腰部にかかる負荷を低減することができるので、腰痛を引き起こすリスクを減らすことができる。

腰タイプを実際につけてみた。3kgと少し重い感じがしたが、慣れにくる違和感がなくなり、体の一部として外したくな

高齡化社会の時代となった日本では、そもそも労働力が不足している。なかでも介護士の仕事は重労働で、近年では、なり手がすくなく、つねに人手不足である。

さらに、食事の世話やむつ替え、老人の体を起こすなど中腰姿勢が多い。そのため、腰痛でやめる人が多い。しかし、HAL®が普及すれば介護士の負担が減少し、労働環境が改善できるだろう。

江戸川大学 総合福祉専門学校

愛称は「えとせんで、今年で創立37年目を迎える。卒業生数は約1万人を超える介護福祉の伝統校だ。学科は5つで本科として、介護福祉科、こども福祉科、心理・精神保健福祉科、社会福祉科、主に実務経験者や大卒者を対象とした通信課程の社会福祉士養成科がある。